

事業評価書

補助事業名	渡名喜小学校遊具購入					
補助事業者名	渡名喜村長					
実施場所	渡名喜村地内					
補助事業の成果の目標	本村の幼稚園及び小中学校は同一施設に併設されているが、現在、施設内にはブランコ及び鉄棒のみ設置されている状況である。そのため、本事業により学校関係者から要望のある遊具を設置し、児童の体力、運動能力の向上及びコミュニケーションの場としての活用を図る。					
補助事業の内容	遊具 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 2,268,000	円	円	円	円 2,268,000
	交付金額	2,268,000				2,268,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業を実施したことにより児童の体力、運動能力の向上及びコミュニケーションの場として役立てることができた。また、教職員、保護者及び児童へアンケート調査を行ったところ、「体育の授業で体づくりが取り組めた、遊具が円滑なコミュニケーションの場となっている」との回答が得られたことから、本事業の成果の目標を達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民への周知を図る。</p> <p>①村ホームページへ掲載(1月)</p> <p>②広報誌へ掲載(3月号)</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、当施設の維持管理を適切に行い、児童が安全かつ利用しやすい環境の保全に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	可搬ポンプ積載軽四輪駆動消防車両購入					
補助事業者名	渡名喜村長					
実施場所	渡名喜村地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村が保有する可搬ポンプ積載軽四輪駆動消防車は、消火活動及び火災予防啓発活動で活用しているが、本車両は購入から18年が経過し、経年劣化による不具合が度々生じ、出動に支障を来している状況である。</p> <p>このため、本車両の更新を行い、今後も安定的に使用できるよう措置することで、消火活動及び火災予防啓発活動を行える環境を維持する。</p> <p>(参考指標) 年間訓練回数:3回</p>					
補助事業の内容	可搬ポンプ積載軽四輪駆動消防車両 1台					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 5,995,000	円	円	円	円 5,995,000
	交付金額	5,995,000				5,995,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 可搬ポンプ積載軽四輪駆動消防車を更新したことにより、消火活動及び火災予防啓発活動を行える環境を維持することができた。 また、整備後1年間の故障等の不具合はなく、訓練回数は3回となっている。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民へ周知を図った。 ①本車両へ記載 ②村ホームページでの公表</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定的に使用できるよう不具合の状況を確認するなど、維持管理を適切に行い、消火活動及び火災予防啓発活動を行える環境を維持することに努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	地域防災計画改定業務					
補助事業者名	渡名喜村長					
実施場所	渡名喜村地内					
補助事業の成果の目標	<p>村域における防災に関し、災害予防対策及び災害応急対策等の防災行政を整備するため、平成23年度に渡名喜村地域防災計画を策定し、その後、国の法整備等の改定を受け平成24年度に修正しているところである。</p> <p>しかし、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)やその後全国で発生した各種災害に対する国の法整備や防災計画改訂および沖縄県地域防災計画等が改定したことから、渡名喜村地域防災計画についても見直す必要が生じた。</p> <p>このことから、本事業を実施することにより、住民の災害時の避難行動の強化および防災意識の啓発を図ることを目的とする。</p> <p>(参考指標) ・年間の活動回数:(平成30年度:2回)</p>					
補助事業の内容	地域防災計画 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 12,628,000	円	円	円	円 12,628,000
	交付金額	12,000,000				12,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 地域防災計画を改定したことにより、住民の災害時の避難行動の強化および防災意識を啓発することができた。 また、整備後1年間の活動実績は2回となっており、住民の防災意識の向上に繋がったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民への周知を図った。 ①村ホームページへ記載。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も国および県の地域防災計画の改定状況を把握し、年間の津波避難訓練時の避難行動の強化や、地域住民の防災意識の啓発に努める。</p>					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	環境衛生施設維持運営事業					
補助事業者名	渡名喜村長					
実施場所	渡名喜村地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村内では、地域住民からの要望により、1日のごみの収集(月、水、金)を、午前・午後の2回収集することによって、ごみの出し忘れや、帰村した方が午後でもごみを出せる環境を整え、地域住民の生活環境向上を図っている。このため、本年度も本事業に調整交付金を充当し、渡名喜村内の環境衛生向上に努める。</p> <p>(参考指標) 事業実施期間中のごみ収集日数:141日</p>					
補助事業の内容	ごみ処理作業員3名 生ごみ処理作業員1名					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 3,620,750	円	円	円	円 3,620,750
	交付金額	2,872,000				2,872,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより目標である午前・午後の2回ごみ収集を行えた。また、収集日数は148日であり、家庭内でごみを溜め込むことも少なくなり、地域住民の生活環境が向上していると評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民へ周知した。 (1)本広報誌5月号に掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後もごみ収集日数を正確に確認・管理することで、さらに地域住民の生活環境の向上に繋げていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	農業集落排水施設中継ポンプ槽非常用発電機購入						
補助事業者名	渡名喜村長						
実施場所	渡名喜村地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村では、家庭用排水・雨水等を農業集落排水施設でろ過し農業用水として利用しています。家庭用排水、雨水を排水施設へ送り込む中継ポンプの非常用発電機が、老朽化し度々故障しているため修繕を行いながら使用しているが、停電時に非常用発電機が作動せず汚水槽から家庭用排水・雨水等が溢れ出す恐れがある。</p> <p>このため、非常用発電機を更新することにより停電時の場合でも家庭用排水・雨水等を排水施設へ円滑に送り込むことができ、村内の環境衛生の維持に繋がる。</p> <p>(参考指標) ・年間の修繕回数:(平成30年度:1回)</p>						
補助事業の内容	非常用発電機 1台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	15,840,000					15,840,000
	交付金額	15,840,000					15,840,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により老朽化している非常用発電機の更新を行えたことにより、停電時でも安心して家庭用排水・雨水等を、排水施設へ送り込むことができ、村内の生活環境の維持に繋がった。</p> <p>また、整備後1年間における修繕等もないことから、村内の衛生環境が維持されていると評価する。</p> <p>また以下方法により特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を地域住民へ周知する。 ※村ホームページへ記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も非常用発電機の維持管理を適切に行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						